

中齋塾東京フォーラム
平成 29 年度 第 7 回塾長講話

平成 29 年 9 月 9 日
於 湯島聖堂

夏はどうお過ごしでしたか。気持ちよく過ごした方、どれぐらいおられますかね。暑くて大変だったよ、困ったねという方はどうだろう。心の持ち方しだいで色々と変わるだろうと思います。

前も申しあげましたが、中齋塾フォーラムが 10 年経ちました。その 10 年間は知識を増やそうという 10 年間。これからの 10 年間は、縦軸を意識しながら判断基準を確立していく時間になると申しあげました。

今日は、そこらへんをもう一回見直しをいたします。恒例の質問は、少し今回から変えてまいります。いつもの質問の中で皆さんが戸惑うのは「昨晚寝る時、明日以降のことを過去形でイメージして眠れた方」これがなかなか面倒だからもっと分かりやすい言葉に変えようと思います。

紹介書籍

『心に成功の炎を』中村天風述 日本経営合理化協会

分かりやすく良いものとして天風先生の『心に成功の炎を』という本を紹介します。天風先生の言葉で良いなと思うのは「夜寝るとき寝際をよくしなさい」とあります。中には素晴らしい真珠を薄絹で包んだような心持で寝なさいという書き方があります。この科白は良いなと思ったもの、気に入ったものをこれから質問に使いたいと思います。

・夜寝る時に、このことを考えると嬉しくて嬉しくてたまらない。楽しくて楽しくてたまらない。小躍りするぐらいに心が躍動してワクワクしてこれは楽しいな楽しいなと、思っ寝つくのが良い。そんなことがありますかね。

会員一私の場合、思いつくと寝れないです。

そうしたらずっと起きていれば良い。あなたのよくない点は、聞いた瞬間に自分の意見

を言うこと。天風先生が徒や疎かにいった科白ではなく、片方の肺をなくして自分はもう死ぬということを心の底まで髓まで思わされて世界中を巡って、どれだけ素晴らしい医者も学者も素晴らしい女優も、みんな私を救うことはできない。どうにもこれは駄目だと、もう私はこれで日本に帰って死ぬんだと思いきだめて帰る途中カリアップ先生に出会い、インドに行って凄まじい修行をし、帰ってきて悟った科白です。ですので聞いた瞬間に「それは、ああです。こうです」と簡単に批評するやつがあるかいと思います。自分が思った瞬間にポッと口に出すことは止めたほうがよいと思っています。思った瞬間に腹の中にためる。それがあなたの修行じゃないのかな。人様に何か出す時には、ゆっくり腹に収めてじっくり考えてから良いタイミングを見て出せば良いと思う。

第二段階は判断基準なので、今自分が発言してよいかどうか。または自分の意思を表示してよいかどうかは、じっくり考えてから意思表示すればよいと思います。天風先生の言葉でいけば、寝る時、考えれば考えるほど、嬉しくて楽しくて、ここには書いてはいないけれどワクワクして本当に寝られないよという気持ちで寝なさいと。考えてみると、こういうことが現実の世界に皆さんおありかな。考えれば考えるほど、思えば思うほど、嬉しくて楽しくて、楽しくて楽しくてワクワクしてしょうがない。そういう気持ちになったら寝際はよい。今はどうだろう。今考えても、このことを考えれば考えるほど、思えば思うほど、嬉しくて楽しくてワクワクしてくるみたいなものってありますか。

…おひとり様、はい有難うございます。

そういうことをベースにして恒例の質問をいたしますが、解釈を少しずつつしていきます。

恒例の質問

・この1~2ヶ月の間、私は世のため人のためになる良いことを一つでも二つでもいいから、よくやったなと思う方どうでしょう。

良いことをしたというものは、自分が良いと思うわけけれども、その良いと思うところに判断基準があります。判断基準で世のため人のためになる良いことをした。

前回申しあげた株式会社ベストセラーズの前社長、編集長にお会いした話をしました。編集長から「どういうことをすればエネルギーがそんなに出るのですか？教えてください」と言われました。相手は団塊の世代の子供ということですが、即答で、世のため人のためになることをしようと思えばエネルギーは無尽蔵に出ると答えました。これが判断基準の一つです。

良いと思うこと、また良い日が続いたなと思うこと、それは世のため人のためという枕詞ではない。世のため人のためになるような良いことをやった日が続いたと思えばそれを判断基準の一つでお持ちいただくことです。

・この1~2ヶ月嘘はつかなかったな。安倍さんみたいな悪い人相になったり、山尾さんのような無表情の顔になったり、ここ1~2ヶ月はしてないという方はどうでしょう。

もう嘘は説明の余地なしです。テレビで見ますと中国の習近平さん。最初は田舎のちょっと良いおやじさんみたいな顔つきでしたが、今は悪人面が酷いなと思います。しかも今日の新聞を見ると、毛沢東以来「領袖」という言葉を使わなかったけれど、自分に「領袖」を使わせようと手練手管をやっています。そういうことを狙いだと人相が悪くなりますね。

ここの湯島聖堂は今年で327年経ちますが、この湯島の聖堂の名を響き渡らせたのは佐藤一斎です。佐藤一斎が作った「漫言」という漢詩があります。

その中に「唯(た)だ 名(な)と利と多く 累(わずらい)を為(な)す」というところがあります。「唯だ 名と利」名は名誉欲。毛沢東以降の「領袖」と呼ばれたとか、何とかと呼ばれたいなんてのは、よくないと思います。それは名誉欲という部分の名です。

利は利益の利。今日の新聞に「北朝鮮の金正恩、30億ドル以上超えるお金を取得している」とありました。まだ北朝鮮のトップは人相が悪くなってないね。悪いことしていると思っていないのでしょうか。

そういう悪党面になってくるのは嘘をつく名誉欲と利益を求める。これは欲しい欲しいとやればやるほど悪党面になる。ただ名と利を求めるのはよくない。その関門を越せば素晴らしい人物になっていくと佐藤一斎の「漫言」にあります。

嘘をつくといけないよというお手本は現代社会の中にいっぱいあります。そこらへんをどうするかといけば天風先生のやり方があります。鏡の前に顔を置いて自己暗示をさせなさいとあります。自分で自分の顔を思い浮かべるのではなくて、鏡の中に向かって自己暗示をするには一向に構わない。私が思うのは、悪党面を止めるためには、鏡をみて目に笑みを浮かべる。頬ではなくて、目が笑ってきたと思えば私は合格だと思う。なかなかね、目は笑わないです。冷たい目をしている人は多いものです。嘘をつけば、鏡を見た時、我ながら悪党面だとなるから、これは鏡を見ればわかる。

・有難うと言い、有難うと言われることが多かった。

これは多いですね。寝る時、自然と感謝の心で寝るには今の話を続ければ自然となります。ただ時々、有難うという意味を考える必要があります。有ることが難(かた)い。これはお釈迦様の説法を思い出してください。亀の話を思い出せばよろしかろうと思います。聞いてないと思ったら隣の人に聞いてみてください。または周りに聞けば何となく分かると思います。わからない方はパソコンで調べていただくと出てきます。

・先ほど申しました、眠る時に考えれば考えるほど、嬉しくて嬉しくてたまらない。楽しくて楽しくてたまらない。なんかもうワクワクしてしょうがない。そういうような気持ちで、ここ1~2カ月間に一度でも寝たことがありますか。

これは「明日以降のことを過去形でイメージして眠れましたか」を、これに切り替えますという話をしました。考えれば考えるほど嬉しくて嬉しくて、楽しくて楽しくてたまらないなんて心持になる人はとても少ない。だいたい今思っていることは、明日どうすればいいかな、こうすればいいかな、上手くいくかな、そういうハラハラした気持ちでいる。ハラハラするとだいたい駄目になる。上手くいって良かったなと思って寝ればいいわけです。そうすると、出来てしまってワクワクして明日はこれが待っている。嬉しいね、嬉しくてという気持ちで眠ればよい。

・自分磨きを、ここ1~2ヶ月よくやっていたと思う方。

私のベースは陽明学ですから、陽明学の中身は言葉でいうと「事上磨錬」それから「知行合一」そして「致良知」と三つあります。自分磨きは事上磨錬という言葉です。自分の日常生活の中で、我知らずの間に自分を磨いている。明確に自分磨きをしようと思って行動していればさらに良い。

基本哲学 <知足>

さて質問はここまでにいたします。以前「足るを知る」という文字を筆で書いたのですが、けれども、見ているとどうも氣にいらぬ。ですので、また気持ちが強くなったら「足るを知る」という字を書こうと思っています。木内さんの会社に行くと「知足利他」という字が書いて掲げてあります。この間、木内さんの会社に行くと字を見て、私の書は自分で見て氣にいらぬと思っていますので、やっぱり書き方がたらないのだろうという氣がします。今度は氣合を入れて書かないといけないなと思います。そのための時間が欲しいなと思いました。ということで、ワクワクして楽しくてよかった、嬉しくて嬉しくてという時間が欲しいと思って、それは素晴らしい字が書けた時にそうなるだろうと思っています。いつその字が書けるか分からないけど必ず書けると自分で思ったので、その準備ができていれば必ずそうなると思っています。ですから自分磨きにも繋がりますので「足るを知る」という文字を自分で書くことによって心に充足感をもちたいと感じました。

テーマ <心の持ち方>

先ほど理事長が心の年齢と実年齢は違う。積極的に明るく生きている人の年齢が心の年齢といわれました。これは天風先生の中にありまして、今日はテーマとして「心の持ち方」と書きましたので、これを見て理事長が言われたのかな。それとも普段思っているもので言ったのでしょうかね。そうすると少し難しい科白になるのかな。

心の持ち方で「心」というのは一体何なんだろうと、自分でもそう思っている科白です。

- ・女性で子供さんがおられる方。

はい有難うございます。赤ちゃんが出来た時って何か感じました？命が宿ったという感じは、どこかでありましたかね。受胎というのでしょうか。赤ちゃんは、天風先生によるとそこらへんの空を飛んでいるんだそうです。どこに行こうかなと思って、気に入ったお母さんのところにスーと行くという話です。私は別にあなたに産んでもらいたいと思ったわけじゃないなんて不埒な子もいるようだけれども、上から見ていてあそこのお母さんが良いやと吸い寄せられてスッと入った途端に命が宿るというわけです。命が宿ったという実感はいかがでしょうかね。もしかしてそういう意識の強い人がおられれば、赤ちゃんが出来たって思うんでしょうね。私は出来たことがないから分からないですが。

命が宿った時が命の始まり。命の始まりで命が始まったら、その命がだんだん育っていくわけですが、心という部分が最初に出来るそうです。命がだんだん育ってきて、心というものを感ずる部分が出来る。心を感じる部分が出来たら、その次にその心を動かすための部分として肉体が、身体が、だんだん出来あがってくる。ということでオギャーと生まれた時は心があり、その周りに肉体があるということだから、煎じ詰めていけば肉体は命から見ると着物みたいですね。心は肉体を動かす道具。どうもエネルギーみたいです。そういう感じがします。ですから命が宿った命ということをどういう言葉でいうのか、靈魂とか魂とか言ったり霊精神と言ったり、色々な言い方があるけれども、魂のほうが分かりやすいかもしれない。魂も魂魄という言い方をしますから、考え始めていくと面倒になってくるので、それをどんどん詰めていけば氣という言葉にもなります。けれども魂という言い方のほうが良いと思います。

肉体は毎日動いていけば汚れる。そこでお風呂に毎晩入ります。意識しなくても、お風呂に入ると体の汚れみたいなものは取れて、綺麗になり、さっぱりします。

では、お風呂に入らないで寝たらどうだろうか。心も俗世間と付き合っていると何となく心も汚れたみたいな気分になることありませんか。それはどうやって綺麗にしますか。

会員一良いことは受け入れるけど嫌なことは受け入れない。

そう生活して行って、お風呂に入って体を洗って綺麗になった時と同じように、心も綺麗

麗になっていますかね。

会員—そういう意識はしていません。

ほとんどの人は意識しない。今ここで話していることは、ちょっと違うことやりましょうという前段階で聞きます。だから今申しあげていることは、お風呂に入って綺麗になる。だったら心もお風呂に入れましょうという話です。心をお風呂に入れるとは、どんなことになるか何となく想像つきませんか。

先ほどの考えれば考えるほど、嬉しくて楽しくてに繋がります。寝る時に横になったら、これから心のお風呂の時間だなと思えばよい。心のお風呂の時間は何か。嬉しくて楽しくて、これは心の汚れを落とす時間である。何かマイナスのことばかり浮かんできたら、何から何まで前向きと見直しをしてみると、心がお風呂に入ったということになる。寝る時は、心もお風呂に入れましょうと考えればよい。心のお風呂です。

もう一つあります。クンバハカの話の前に申しました。今回はちょっと一緒にやってみませんか。もしもヨガをやっている人がいれば、ヨガの先生にでも確認してみてください。

ポイントは一つだけ、お尻の穴をキュッと閉める。肛門を閉めるとなんとなく腹に力が入りませんか。腹に力が入ると肩の力が何となくフッと落ちる。それで肛門を緩めてください。川に入ってドザエモンになる人はそこが開いている。死にたくなかったらキュッと閉める。そうすると何か大きいショックがきた時、自然と肛門を閉める癖がつけば、フッと受けてそれを処理することが淡々と出来る。前準備で、これから何か大仕事をしよう、大きな交渉事をすると思ったら、事前にキュッと肛門を閉めるというのを癖にすると良いと思います。

私が今思っていることは、今年 70 代に入りました。70 代に入って夏休みをいただいて考えていたら何か心持が変わりました。心境の変化は、先ほど「世のため人のために」という科白ですが、前はくすぐったくなってきて喋れませんでした。でも今は平気でスラッと出るようになり、聞かれて心の中にあるものを自然と答えた。もう自然と答えていると自分で実感して、今までずっと溜めていたものは、もう発酵して外に出してもよい状況に入ったという実感が生まれましたので、自分の心にあるものを素直に出してよい年代に入ったなと思いました。

私が 70 代に入って自分の思っていることを申しあげるようにしますといった科白で、今まで抵抗していたものがあつたのですが、憑き物みたいなものがスッと落ちてしまったので自然と言えるようになりました。それは今まで私は自分の力で生きる。自助努力。自分

で生きると思っていて、生かされていると口の上でたまに言うことはありますが、腹の中ではどうもピタッとこなかった。でも最近は自然の法則にやっぱり従って生きなきゃ駄目だと感じます。自然の法則に従って今、生きているということを実感しています。赤城の山にこもっている間に何かそういうことが腑に落ちてきました。そこらへんが石川梅次郎先生の心身脱落というのかな、自分はこれをするために生まれてきたということが、どこかで実感できるとその心身脱落に遭遇するようです。

理屈で考えると、私は息をしている。息を止めたら死んでしまいます。食べ物も食べている。みんな命をいただいている部分がある。食べたり寝たり息をしたり、これは何なのか。やはり自然の法則に否応なく従っているのではないかと感じます。

赤城で自転車に乗ると、とても気持ちが良い。自然は良いなと走っていて、でもやっぱり生きているよなという感じがするのと、やっぱりこれ生かされているなって感じがする。道を歩いていると、けっこう小さい昆虫がいます。普通に歩いても何かいるよと思ったら、ちょっと避ける。バッタかなにかは飛んでしまいますけれども、のそのそ歩いている虫は私が足をどかさなかつたら踏み潰してしまうと思うと、この虫は少なくとも命を助けたぞと思う。向こうにすると有難うとは言わないけど、そんな中どこかにやっぱり上方に、何かいるんだろうなということ自分を置き換えて感じるようになりました。生きているということと、生かされているということは、何となく今まで喋っていた部分が自然の中で住んでみるとちょっと変わってきました。

私は気がついたら 30~50 代は会社の社長でしたから、もうめちゃくちゃに働きまくってずっと 30 代の気分でした。60 代になって世の中に恩返しをと思い始めてみたけれども、氣分的には 30 代の気分でした。ところが 70 代に入ったら今 70 代の気分になってしまいました。70 代の気分になりましたけれども、体力的には若がえらせようと思って若がえらせています。1 年前よりパワーアップしていますから、体力年齢は心の年齢とともに若がえっております。

私が実感しているもの自得しているものを、これからは申し上げていきます。ただ知識は安岡正篤先生の知識は素晴らしいと思っていますので、安岡先生の本の牽引の手引きは作ろうと思っています。こういうふうにお読みなさいなという手引書は拵えたほうが親切かなと思っていますので、ただこれは直ぐには出来ないが 2~3 年はかかるでしょう。ということ今考えております。

論語の視点 (憲問十四 43~44)

読まれた時に「子張曰く」ではなくて「子曰く」から始まったなと思いましたが、お氣

づきになったかどうか。よくあります。漢字を見ていて自分で読んだつもりでいて読んでいないとか。頭の中にある字で読むと、目の前に見えている文字をそのまま読まないということがある。頭の中でいいから見直しをするということが必要だと思います。これもそういうことだと思います。

【四三】^{しちやういわ}子張曰く、^{しょ い}書に云う、^{こうそう}高宗 ^{りやうあん}諒陰 ^{さんねん}三年 ^{ものい}言わずとは、^{なん いい}何の謂ぞやと。^{しいわ}子曰く、^{なん}何ぞ ^{かなら}必ずしも ^{こうそう}高宗のみならず、^{いこしえ}古 ^{ひと}の人 ^{みなしか}皆然り。^{きみこう}君薨ずれば、^{ひやくかん}百官 ^{おのれ}己を ^す総べて、^{もつ}以て ^{ちやう}冢 ^{さい}宰に ^き聴くこと ^{さんねん}三年と。

現代日本でも喪に服するという言葉が残っています。喪中の喪という字は、屋根は草葺きの粗末な建物。それを喪屋。粗末な建物に三年間もって喪に服するという言い方をしますが、ベースはこれですね。

「高宗 諒陰 三年 言わず」というのは、その粗末な建物に入って何も言わない、お隠れになっている。子張が孔子に聞いたわけです。高宗が三年間、ものを言わないで籠ってしまった。これはどういうことでしょうか。孔子が答えて、これは高宗だけではない。昔の人は皆そうだ。君主が亡くなったら、その時の官僚は自分の仕事についてとりまとめ、大臣の一番上の人にどうすればよいかと三年は聞いておこなっていた。したがって、君主が何も言わなくても内閣総理大臣のような立場の人間が代行していくから大丈夫だよと答えたということです。

【四四】^{しいわ}子曰く、^{かみ}上 ^{れい}礼を ^{この}好めば、^{すなわ}則ち ^{たみ}民 ^{つか}使い ^{やす}易し。

これはトップしだいですね。孔子が言うには、上の人が礼を好めば、国民はその考え方に馴染んで、礼を好むようになるから、上の人たちは行政を司る時には非常にやりやすくなるという説明です。

会社を見てればトップがこういうこと好き、ああいうこと好きといったら大体みんなその色に染まってきますね。だから色に染まらない人はどうしても居づらくなってくるなどという感じがします。これもトップが好むものによってその会社の色が変わるから、よほどトップは氣をつけないといけないと考えます。

時事評論

今日の読売新聞に、習近平さんに党の領袖という名前を付けようという動きが加速して

いると書いてありますけども、これはそういうことになるんですかね。なった場合はどうなるか。毛沢東以来となるか。そうなった場合、日本にとって影響はどうでしょうかね。

大野参与一影響はあまりよくない。

よくない。そうするともう一つ、日中国交化 45 周年を祝うという記事があります。こちらは両国の国会議員 300 名が出席をした。これは 1972 年田中角栄さんと周恩来さんが共同調印をして国交正常化を始めた。その後、2012 年に尖閣諸島国有化で中国側が反発で中止。それ以来 7 年ぶりでこの式典を行う。

さてそうすると日本の置かれている状況を考えると、中国の動向を見ておく必要があるし、ロシアを見ておく必要がある。それから北朝鮮を見ておく必要がある。そうするとヨーロッパも当然見なきゃいけないけれども意識的に北朝鮮、中国、ロシアこれを見なければいけない。北朝鮮からミサイルが飛んできて落ちるということは十分ありうる。日本に落とす時はアメリカの基地に落とす。日本の中にある基地に落とすことは、アメリカを攻めたということです。そして日本を攻めたということになる。どこまでが本当かは分かりませんが、水面下で話は色々しているようです。横須賀基地に落ちるのか、横田基地に落ちるのかというようなところだろうと思っています。ミサイルが落ちた時、日本が極端から極端に移るきっかけになるだろうという気がします。もしも間違えて被害がかなりのものがでたらそれは加速するでしょう。

今日の新聞で見ると、日本の中は価格戦略が変わったとあります。小売りは値下げで外食は値上げ。今までは値上げといたら大体みんな値上げになる。値下げといたら値下げになる。それがバラバラの動きになってきているのは、ひとつ兆しがでたなと思います。だんだん日本の国の中を見るのに判断基準がバラバラなものになり、見えなくなってくる。政治家を見るときは悪党面が酷くなってきたらもう駄目。とにかくもう国会の話は見てみると見るに堪えない、聞くに堪えない状況になっています。自分の身持ちをしっかりと、自分たちが生きていけるような手立てを進めなければいけない時代に完全に入ったなと思っています。この新聞も前から申しあげているように、もうヒント以外のなにものでもない。新聞を見て役に立たせようではなくて、これはヒントで自分が考える。そうすると自分が判断基準を持っていないといけないので、新聞を見た時に値上げ値下げは是か非か。

北朝鮮の金正恩の 30 億ドル超す金の集め方は凄まじいけれども、それにしても悪党面になってないのは仕組みとして国家がそういう金を蓄えているからだと思います。中国の要人たちの悪党面はやっぱり悪いことしているという自覚があるのではないのでしょうか。私服を肥やしているのはプーチンさんだって相当だと思うが、上手にやっているからあまり悪党面になっていないですね。何か上手な仕組みを拵えているんだろうという気がします。

新聞を眺めていただくと、安倍さんがもうプライマリーバランスなんて気にしないなん

て書いてある。まあ酷い話だなと思いますが、どんどんアドバルーンあげだしたなと新聞から垣間見ることができます。これはくれぐれも判断基準を自分でお持ちになって色々なことを判断していただければよいと思っております。判断基準を皆さんお見つけになってください。その判断基準の中で、私はこう思うけれど…ということになったらディスカッションできますので、それを楽しみにしております。有難うございました。